



地域子育てネットワークだより

令和8年6月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県県民生活部男女青少年課

E-MAIL : daniioseishounen@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 73122)



<http://web.pref.hyogo.lg.jp/Akt17/network>

尼崎市児童相談所の開設について

本年4月1日、尼崎市が「**尼崎市児童相談所**」を開設しました。

これに伴い、尼崎市を管轄していた兵庫県尼崎こども家庭センターは令和8年3月末をもって廃止となりました。

名 称 : **尼崎市児童相談所**

所 在 地 : 〒661-0974 尼崎市若王寺2丁目18番7号

あまがさき・ひと咲きプラザ内子どもの育ち支援センター新館

電話番号 : 06-6480-8612

F A X : 06-6409-4354

尼崎市HP [児童相談所 | 尼崎市公式ホームページ](#)



子育て応援ネットの活動内容紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します。

播磨町女性活動活性化事業推進協議会は、播磨町連合婦人会・日本赤十字社兵庫県支部東播磨地区播磨町分区赤十字奉仕団・播磨町消費者協会・播磨町いずみ会の4団体で構成され、**女性の地位向上と子育て支援**を目指し活動しています。

日常活動として、**毎週月曜日に各小学校の校門前であいさつ運動**を実施しています。

登校時の見守りを兼ねながら、子どもたちや保護者に声かけを行い、安心できる地域づくりを推進しています。

また、年に1回、**子育て応援イベント**を開催し、**子育て世代・高齢者・若者の三世代が集まる交流の場**を設けています。

子育てにまつわる講演会や絵本の読み聞かせ講座等を実施し、異なる世代同士の相互理解を深めるとともに、**地域コミュニティの絆を強化**しています。

今後も地域全体で子育て家庭を支える活動を継続してまいります。



播磨町女性活動活性化事業推進協議会
会長 中村 まさみ





こども・若者の声を聴かせてください



兵庫県では、こどもに関する施策に、当事者であるこども・若者の意見を反映させるため、**アンケート調査を実施**します。

モニターにご協力いただける方の募集に向けて準備を進めております。

準備が整いましたら、県 HP などでお知らせしますので、ぜひご参加ください！

対象：県内在住または在学の小学4年生～高校3年生

募集定員：小・中・高校生の区分で各100名、計300名（先着順）※予定

アンケートの実施：7月と12月頃にアンケートを実施予定

過去のアンケート結果 [兵庫県／兵庫県こども政策モニターのアンケート結果](#)



まちの子育てひろばの紹介



姫路市立東児童センター まちの子育てひろば

東児童センターは、いろいろな年代・地域のこどもたちが遊びを通して仲間を作り、交流を深める場であるとともに、安心してすごせる居場所でもあります。また、親子のふれあい遊びや体操などを行う「赤ちゃんランド（0歳児）」「てくてくランド（1～2歳児）」「スキップランド（2歳以上）」や、乳幼児向けのおもちゃで自由に遊べる「おもちゃ広場」「ウキウキ広場」などを実施し、子育て家庭への支援や親子の交流活動・情報提供も行っています。

特に今年度からママ・パパをメインにいろいろな親子企画「smile+（スマイルプラス）」がスタート!! 「みんなでランチ」や消防車の見学、さつまいも堀り体験、化学実験教室などを実施する予定で、親子ぐるみで様々な活動を体験していただき、子育て仲間の輪が広がることをめざしています。

開催日時などはHPでご確認ください。



←姫路市立東児童センター



消防士による消火訓練



姫路工業高校生徒による化学実験教室

連載 181 回 「30分に1回は、20秒以上、遠くを見て目を休める」

県立こども病院名誉院長 中村 肇

児童生徒の裸眼視力が年々低下しており、近視の発症・進行とスマホ・パソコンといったデジタル端末との関係性が注目されています。

近視は、メガネやコンタクトレンズで矯正すれば見える、として解決されるものではなく、**近視の人は、将来、緑内障になるリスクが4倍、網膜剥離になるリスクが3倍になる**こともわかってきました。

日本眼科医会では、「**デジタル端末の画面を連続して見る時間（近くを見る時間）は30分が限度であること。20秒以上端末の画面から視線を外し、近くを見ない時間を確保すること。**」という目の健康ルールを守るようにすすめています。

日も長くなりましたので、できるだけ屋外での生活をする事です。**時間の長い屋外活動の際には、紫外線対策（帽子、日焼け止めクリーム等）や熱中症対策**を施したうえで、児童生徒の健康・安全確保に留意しましょう。

